



令和元年第2回占冠村コミュニティ・スクール議会会議録（第1号）  
令和元年11月20日（水曜日）

○議事日程

- 議長開会宣言（午後1時56分）  
自己紹介
- 日程第 1 会議録署名議員の指名について（鈴木 朱那君、門間 風弥君）  
日程第 2 会期決定について  
諸般報告
- 日程第 3 一般質問  
講評

○出席議員（15人）

（占冠中学校）

事務局長	1年	石 塚	聖 君	事務局次長	1年	井 川	結 君
議 員	2年	鈴 木	朱 那 君		3年	門 間	風 弥 君
	3年	山 本	悠 幹 君		2年	渡 辺	堅 成 君
	2年	馬瀬戸	恵梨香 君		2年	赤 石	妃 陽 君
	3年	藤 田	遥 誠 君		3年	満 永	秀 誠 君
	2年	金 森	夕 苺 君		3年	伊 達	小 春 君
	3年	茶 谷	一 輝 君		1年	堀 江	風 仁 君

（トマム学校）

8年 グルングソニカ 君

○欠席議員（1人）

1年 満 永 梓 咲 君

○出席説明員

村議会議員

議 長	相 川	繁 治 君	副 議 長	大 谷	元 江 君
議 員	藤 岡	幸 次 君		五十嵐	正 雄 君
	下 川	園 子 君		小 林	潤 君
	児 玉	眞 澄 君			

○出席事務局職員

事務局長 岡 崎 至 可 主 事 久 保 璃 華

---

### ◎村民憲章

〇CS事務局長（石塚 聖君） 事務局長の石塚聖です。よろしくお願ひします。

起立、礼。

村民憲章を朗読します。私の後に続いてください。

ひとつ、健康で、しあわせな家庭をつくりましょう。ひとつ、自然を愛し、美しい環境をつくりましょう。ひとつ、きまりを守り、明るいまちをつくりましょう。ひとつ、生産を高め、活気ある社会をつくりましょう。ひとつ、文化を育て、豊かな郷土をつくりましょう。

お座りください。

---

### ◎特別傍聴人紹介

〇CS議長（大谷元江君） 本日、議事進行を進めさせていただきますコミュニティ・スクール議会議長の大谷元江です。よろしくお願ひいたします。

本日の議会中の言葉ですが、コミュニティ・スクールを省略し、CSと呼ばさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

今回も昨年度に引き続き、特別傍聴人として、今CS議会にご参加していただいておりますので、お名前のみご披露させていただきます。

占冠村長、田中正治君。

占冠村副村長、松永英敬君。

占冠村教育委員会教育長、藤本武君。

本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

---

### ◎自己紹介

〇CS議長（大谷元江君） 開会に先立ち、

占冠村議会議員とCS議会議員の自己紹介を行います。指名された者から、順番に自席で自己紹介を行ってください。

まず、本日の議長である私から行います。占冠村議会で副議長を務めさせていただいております大谷元江です。よろしくお願ひいたします。好きな食べ物を紹介します。私は野菜と果物が大好きで、特にみかん、りんご、トマトは主食に代わることがございます。よろしくお願ひいたします。

次に占冠村議会議長、相川繁治君。

〇村議会議長（相川繁治君） 私は、議会議長を務めさせていただいております相川繁治でございます。よろしくお願ひいたします。好きな食べ物につきましては、今道の駅で販売されているしむかっぴー最中、あれについて関わりを持ちましたので、非常にあんこが大好きなもので、これからも甘いものをよろしくお願ひいたします。

〇CS議長（大谷元江君） 次に占冠村議会議員、児玉眞澄君。

〇村議会議員（児玉眞澄君） 皆さんこんにちは。今年、新入生として議会に入学をいたしました児玉眞澄です。出身は札幌なんですけど、皆さんが生まれる20年くらい前、昭和58年にトマムリゾートが開業したんですけれども、その時に札幌のホテルから転勤をしてやってまいりました。それ以来、村に在住しています。好きな食べ物は、ラーメン。それから、バチマグロとキハダマグロはあんまり好きじゃないんですけども、本マグロの中トロが好物です。今日はよろしくお願ひいたします。

〇CS議長（大谷元江君） 次に占冠村議会議員、五十嵐正雄君。

〇村議会議員（五十嵐正雄君） こんにちは。五十嵐です。現在、議会で3期目です。議会

では総務産業常任委員長をしています。好きな食べ物は、魚が大好きで、特にサバが大好きです。以上で終わります。

**〇CS議長（大谷元江君）** 次に占冠村議会議員、小林潤君。

**〇村議会議員（小林潤君）** 皆さんこんにちは。私は新人の小林潤と申します。好きな食べ物は、握りずしとフルーツでいけばスイカでございます。趣味は、若いころは野球をしていたんですけども、今は時間を見てウォーキングをするのが趣味です。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

**〇CS議長（大谷元江君）** 次に占冠村議会議員、藤岡幸次君。

**〇村議会議員（藤岡幸次君）** こんにちは。今年の春初めて議員に当選しまして、1年生でございます。藤岡幸次と申します。趣味はスキーで、食べ物についてはたくさんあるんですけども、特に餃子、そば、チャーハン、デザートに熊ちゃんメロンです。よろしくお願いいたします。

**〇CS議長（大谷元江君）** 次に占冠村議会議員、下川園子君。

**〇村議会議員（下川園子君）** 議会議員の下川園子と申します。普段はトママで生活しています。好きな食べ物はいちごです。よろしくお願いいたします。

**〇CS議長（大谷元江君）** 次にCS議会議員から、鈴木朱那君。

**〇CS議会議員（鈴木朱那君）** CS議会議員の鈴木朱那です。占冠中学校の2年生です。好きな食べ物はいちご大福です。よろしくお願いいたします。

**〇CS議長（大谷元江君）** CS議会議員、門間風弥君。

**〇CS議会議員（門間風弥君）** CS議会議員の門間風弥です。占冠中学校の3年生です。

好きな食べ物は味噌ラーメンです。よろしくお願いいたします。

**〇CS議長（大谷元江君）** CS議会議員、山本悠幹君。

**〇CS議会議員（山本悠幹君）** CS議会議員の山本悠幹です。占冠中学校の3年生です。好きな食べ物は餃子です。よろしくお願いいたします。

**〇CS議長（大谷元江君）** CS議会議員、渡辺堅成君。

**〇CS議会議員（渡辺堅成君）** CS議会議員の渡辺堅成です。占冠中学校の2年生です。好きな食べ物はおすしです。よろしくお願いいたします。

**〇CS議長（大谷元江君）** CS議会議員、グルングソニカ君。

**〇CS議会議員（グルングソニカ君）** CS議会議員のグルングソニカです。トママ学校の8年生です。好きなフルーツはマンゴーです。よろしくお願いいたします。

**〇CS議長（大谷元江君）** CS議会議員、馬瀬戸恵梨香君。

**〇CS議会議員（馬瀬戸恵梨香君）** CS議会議員の馬瀬戸恵梨香です。占冠中学校の2年生です。好きな食べ物はぶどうです。よろしくお願いいたします。

**〇CS議長（大谷元江君）** CS議会議員、赤石妃陽君。

**〇CS議会議員（赤石妃陽君）** CS議会議員の赤石妃陽です。占冠中学校の2年生です。好きな食べ物はきつねうどんです。よろしくお願いいたします。

**〇CS議長（大谷元江君）** CS議会議員、藤田遥成君。

**〇CS議会議員（藤田遥誠君）** CS議会議員の藤田遥誠です。占冠中学校の3年生です。好きな食べ物は朝に食べるヨーグルトです。

よろしくお祈いします。

○CS議長（大谷元江君） CS議会議員、満永秀誠君。

○CS議会議員（満永秀誠君） CS議会議員の満永秀誠です。占冠中学校の3年生です。好きな食べ物はお母さんが作ってくれるごはんです。よろしくお祈いします。

○CS議長（大谷元江君） 次にCS議会議員、金森夕苺君。

○CS議会議員（金森夕苺君） CS議会議員の金森夕苺です。占冠中学校の2年生です。好きな食べ物は魚介類で、特にエビとイカが好きです。よろしくお祈いします。

○CS議長（大谷元江君） CS議会議員、伊達小春君。

○CS議会議員（伊達小春君） CS議会議員の伊達小春です。占冠中学校の3年生です。好きな食べ物は卵焼きです。よろしくお祈いします。

○CS議長（大谷元江君） CS議会議員、茶谷一輝君。

○CS議会議員（茶谷一輝君） CS議会議員の茶谷一輝です。占冠中学校の3年生です。好きな食べ物はみかんです。よろしくお祈いします。

○CS議長（大谷元江君） CS議会議員、堀江風仁君。

○CS議会議員（堀江風仁君） CS議会議員の堀江風仁です。占冠中学校の1年生です。好きな食べ物はステーキです。よろしくお祈いします。

○CS議長（大谷元江君） 次にCS議会事務局長、石塚聖君。

○CS議会事務局長（石塚 聖君） 占冠中学校1年、石塚聖です。好きな食べ物は餃子とカレーです。よろしくお祈いします。

○CS議長（大谷元江君） 次にCS議会事

務局次長、井川結君。

○CS議会事務局次長（井川 結君） CS議会議員の井川結です。占冠中学校の1年生です。好きな食べ物はパンです。よろしくお祈いします。

○CS議長（大谷元江君） 村議会議員の皆様、CS議会議員の皆様、ありがとうございました。

---

### ◎開会宣言

○CS議長（大谷元江君） では、早速ですが、CS議会を開催いたします。

ただいまの出席議員は15名です。令和元年第2回占冠村コミュニティ・スクール議会を開会します。

---

### ◎日程第1 会議録署名議員の指名について

○CS議長（大谷元江君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

CS議会の会議録署名議員は、議長において、鈴木朱那君、門間風弥君を指名します。よろしくお祈いいたします。

---

### ◎日程第2 会期決定について

○CS議長（大谷元江君） 日程第2、会期の決定の件を議題とします。

お諮りします。

本CS議会の会期は、本日11月20日の1日間としたいと思ひます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○CS議長（大谷元江君） 異議なしと認めます。

したがって会期は、本日11月20日の1日間と決定しました。

---

### ◎諸般報告

○CS議長（大谷元江君） これから諸般の報告を行います。

井川事務局次長。

○CS事務局次長（井川 結君） 事務局次長の井川です。よろしくお願いします。

お配りしております審議資料をご覧ください。読み上げてご報告いたします。

9月19日、トマム学校、議題を確認し、トマムの課題やあったらよいものを整理しました。

9月26日、トマム学校、考えの具体化と仮プロジェクト名の検討を行いました。

9月30日、トマム学校、プロジェクトの内容を考え、名前の決定をしました。

10月11日、占冠中学校、占冠村のしくみを学習しました。トマム学校、プロジェクト実施に伴うメリット・デメリットの整理を行いました。

10月17日、占冠中学校、一般質問・再質問内容の検討、発言者の決定を行いました。

10月23日、トマム学校、プロジェクトの実施計画づくりを行いました。

11月8日、トマム学校、議会の日程確認と議員からの質問に対する回答案を検討しました。

11月12日から13日、トマム学校、議会に臨むためのマナー学習を行いました。

11月20日、トマム学校、CS議会前の議会日程等の最終確認を行いました。以上、ご報告いたします。

○CS議長（大谷元江君） これで諸般の報告を終わります。

---

### ◎日程第3 一般質問

○CS議長（大谷元江君） 日程第3、これから一般質問を行います。順番に発言を許します。

1番、鈴木朱那君。児玉眞澄君。

○1番（鈴木朱那君） 現在、占冠中学校の生徒のほとんどが部活動を行っており、下校時刻は午後6時です。また、放課後に委員会活動を行う場合があり、委員会活動後の下校時刻は午後4時を越してしまうこともあります。11月ころからは、午後4時には既に日が暮れ始め、5時には真っ暗になります。帰宅の際、暗闇の中を徒歩で帰ることに危険を感じています。特に冬場では、坂道が暗いため、雪の段差や路面凍結などの危険を確認することができません。また、中学校は避難場所にもなっていて、夜に避難することになると、避難者にとっても使いにくい道となります。

そこで、児玉議員に質問です。去年も、同じような質問をさせていただいたのですが、具体的に、どのような活動を行いましたか。そして、その効果については、どのようにお考えですか。

○村議会議員（児玉眞澄君） 鈴木議員、緊張していますか。

○1番（鈴木朱那君） はい。

○村議会議員（児玉眞澄君） 学校祭の時の発表がありましたね。上映映画を15分にまとめてみました、だったかと思えますけれども、その時と比べてどうですか。

○1番（鈴木朱那君） 今のほうが緊張しています。

○村議会議員（児玉眞澄君） ひとつ深呼吸をして、リラックスしましょう。

鈴木議員のご質問にお答えしたいと思いますが、その前に、1点お聞かせいただきたいんですが、今回の去年に対する活動、そして効果に至った経緯、こういう質問をしようと考えられたのは鈴木議員個人の発想ですか。

○1番（鈴木朱那君） グループで考えました。

○村議会議員（児玉眞澄君） なぜお聞きしたかと言うと、この質問を見たとき、びっくりしたんです。というのは、着眼点が素晴らしいんです。難しい言葉で言うと、検証するという言い方をするんですけど、我々議員、皆さんも学校において、あるいはこれから社会に将来出るわけですけれども、自分の発言したこと、言ったことについて責任を持つことは非常に重要なことだというふうに考えておりました、鈴木グループ皆さんの発想に、まずは敬意を表したいと思います。すばらしいと思います。

では、本論に入りますけれども、昨年に対してどのような活動をされたかということなんですけれども、去年は金森議員の質問だったかと思えますけれども、残念ながらこの質問の答弁をした議員は今期で引退をされておまして、私も1年生なものですから、その議員がどのような活動をしたかというのは不明だったんですけれども、つい先日、お話しする機会がありまして、活動について伺いました。結果としては、村に通学路安全推進委員会会議というのがあるんです。この委員の方々にこの問題を取り上げてもらうように活動しましたというお話でありました。

その後、各地域の行政区長さんと村との会議がありまして、そこで通学路対策ということで、神社裏の皆さんの通学路、これが非常に暗いということで、安全対策の指摘がされて、村に改善の要望を出したということになっています。これは、去年の質問を受けた議員さんが働きかけを行った結果ではないかと思っています。活動状況についてはそういうことになっています。

次に、その活動が功を奏したか、どういうふうに表れたかということなんですけれども、あの坂は村道なんです、村の道路です。村に

も確認をしました。要望をいただいた後、早速村の役場の担当者、電気屋さん、業者さんが現地を確認したということです。さらに、教頭先生にお話を伺って、具体的に場所を指定してくださいと。どの場所に設置するのが一番効果的なのか、場所を指定してくださいということを教頭先生と協議をしたというふうに村から伺っておきまして、これも一歩進んだ効果の一つの表れじゃないかと思っております。

この問題につきましては、私も行政区長をやっております、一員として改善要請を行っておりますので、それほど時はかからず、あの場所については照明は付くだろうと思っております。村長、そういう答弁でよろしいでしょうかね。

○村長（田中正治君） はい、よろしいです。  
○村議会議員（児玉眞澄君） ということで、おそらく近いうちに街路灯は設置されると。また、私もそのまま引き続いて働きかけを続けてまいりたいと考えております。以上です。

○1番（鈴木朱那君） ありがとうございます。さて、ここからが本題になるんですが、私が村長になったら、街灯を増やすとともに、わずかな照明を遮っている木の伐採に力を入れていきたいと思っています。そうすれば、今まで足元しか照らされていなかった環境が改善され、生徒や地域の人々が安心して坂を利用することができると思います。そのために、村議会議員の皆さんに、実際に私たちと下校してもらい、今の坂の現状を把握していただき、一緒により良い改善策を考えていただきたいと思っています。児玉議員は、これらの提案についてどのように思われますか。

○村議会議員（児玉眞澄君） お答えする前に1点確認したいと思うんですが、鈴木次期

村長におかれまして、施政方針である街灯を増やし、照明を遮る木の枝葉を伐採すると。いわゆる環境改善策と言ってよろしいかと思うんですけれども、これは当然、村長さんですから村内全域のことを考えておられると思うんですけれども、その一歩として、まずは一番不便に感じている神社裏の坂で実施したい。村内全域じゃなくてまずは神社裏の坂を何とか明るくしたいんだというご提案と受け取ってよろしいですか。

○1番（鈴木朱那君） はい。

○村議会議員（児玉眞澄君） 最初から村内全域をとということになりますと、街灯を付けるのもお金がかかります。それ相応の予算措置をしなければならぬ。また、はたしてそこに必要性があるのかどうかということも検討しなきゃならないということで、大ごとになりますけれども、神社裏の通学路を改善したいということであれば、私も鈴木次期村長のご提案に大賛成いたします。あの地域の防犯、事故防止のために必要なことだと私も常々感じておりましたので、この提案に賛成させていただきます。引き続き、村のほうへ改善要請を続けてまいりたいと思っております。

それから、もう1点、我々議員も実際の現場に行き、皆さんと下校を共にして現状を把握してはどうかという提案をいただきましたけれども、これにつきましては昨年ご質問をいただいているということもありますし、せつかくの提案ではありますけれども、皆さんと同道するまでもなく、これについては、我々議員も、役場においても村内の現状を把握することは職務でもありますので、十分に認識しております。そういったことをご理解いただきたいと思います。

現地を確認して正確に状況を把握したうえで改善策を考えていくことは、大変重要なご

提案でありますので、私のこれからの議員活動に肝に銘じてこれらを生かしていきたいと考えております。以上です。

○1番（鈴木朱那君） 詳しい回答ありがとうございます。もう一度言いますが、今回の提案は、あくまでも通学路の坂に限定しています。その理由としては、村で唯一の備蓄庫が設置されている占冠中学校への唯一の避難路であるからです。そういった意味でも必要性は非常に高いと考えています。ただし、経費の面で照明を設置するのが難しければ、木や枝の伐採を一刻も早く行うべきだと思います。行政区長会議において、村に対して改善を要望していくとのことで、大変嬉しく思っています。ありがとうございます。占中生一同、一日でも早く改善が実現されることを願っています。以上で、私からの提案を終わります。ありがとうございました。

○村議会議員（児玉眞澄君） どうもありがとうございました。

○CS議長（大谷元江君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。2番、門間風弥君。五十嵐正雄君。

○2番（門間風弥君） 私は、今回の台風19号で被災した東京台東区にいたホームレスや住所不定の人たちが避難所で受け入れを拒否されたり、ペット同伴での避難を拒否されたという報道を見て、日本の避難所の現状に大きな不安を感じました。

そこで五十嵐議員へ質問します。現在の日本における避難所には、どのような問題や課題があるとお考えですか。議員の考えをお聞かせください。

○村議会議員（五十嵐正雄君） 門間議員に確認しておきます。門間議員のほうでは日本のいろいろな避難箇所についての問題点とい



うことですけれども、本議会は、占冠村の住民の安心安全を確保するための議論をする場だと思っておりますので、占冠村の問題に限ってお話をしてよろしいですか。

○2番（門間風弥君） はい、お願いします。

○村議会議員（五十嵐正雄君） どうもありがとうございます。門間議員の指摘しているとおり、台東区で起きましたホームレスの人たちの避難所の受け入れ拒否については、大変問題があると、門間議員がおっしゃるとおりだと思っております。とりわけ、この問題については、憲法の第14条第1項に大きく違反すると考えています。占冠村では、すべての村民は元より、村内に滞在中の日本人はもちろんのこと、外国人の性別や国籍に関係なく、人間としてすべての人たちを受け入れる体制を確立していかなければならないと考えています。

村内の避難所のトイレについては、中学校の状況でも分かるように、高齢者や障がい者にとっては大変使用しづらい施設になっております。この間、議会でも多くの方々から指摘され、村に改善を要請してきておりますから、早急に改善するように取り組んでいかなければならないと思っております。また、避難が長期間に渡るということになった場合には、あそこにシャワーを完備したお風呂とかがありませんので、こういったことも含めて改善をしていかなければならないと思っております。また、段ボールベッド等も一定程度確保していく必要があると考えております。

各避難場所にはそれぞれ村としてもいろいろな発電機や食糧等の備蓄品を用意してありますけれども、これらについても定期的に点検して、備蓄品の充実に努めていかなければならないと思っております。以上です。

○2番（門間風弥君） ありがとうございます

す。占冠村にはさまざまな国や地域から多くの観光客が訪れています。彼らは村民ではありませんが、災害時には村民同様に命を守る必要があると私は思います。そこで、私が村長になったら、避難所に観光客も被災者として受け入れをしようと思っております。そのために、道の駅や公衆トイレ、ハマナスクラブなど、観光客が多く訪れる場所に、英語や中国語など、広く使われている言語で書かれた避難所への案内を設置することを提案します。

また、運動公園横の避難階段については、いくつか問題があると思っております。まず、夜に避難することになった場合に、街灯が設置されていないため、暗くて非常に危険です。さらに、占冠は雪が多く降る地域ですので、もしも冬に避難することになった場合、避難階段が除雪されていないと、そもそも階段の意味がありません。また、滑りやすく足腰の悪い人たちにとっては、とても危険であるという問題もあります。さらに、もし除雪が行われていない場合には、中学校への避難経路は坂道一本になってしまい、そこでの混雑も予想されます。そこで、避難階段の街灯の設置、冬には除雪を行う事を提案します。五十嵐議員は、これらの提案についてどのように思われますか。

○村議会議員（五十嵐正雄君） 貴重なご意見ありがとうございます。門間次期村長の指摘のとおりだと思っております。災害時、村民は元より、村内に滞在している方、また、通過者の命を守るために日本語や英語、中国語、韓国語等で書かれた看板を作成して、避難場所付近は元より、外国人が立ち寄る施設等に看板の設置をすることは必要だと思っております。これらについても、既に今までの村の議会の中でも行政側にそういった要望等も出しておりますので、早急にこういったことが、

門間次期村長が提起している形で進めていく必要があると思っています。

また、中学校への避難階段については、夏季の夜間照明につきましては、災害が発生、または災害が発生するということで避難勧告を出す場合に、移動式の照明器具を設置することになっておりますので、これで対応していくということです。

また、指摘されている冬期間の除雪の問題でありますけれども、冬期間の占冠村における災害というのは、主に大雪等によって交通が遮断されて、道路の通過者が身動き取れなくなるという状況で、そういう人たちを避難場所に避難させるということが考えられます。そういったときに、避難場所についてはコミュニティプラザを使うことになっております。冬期間の階段を使うことによって滑ったりという二次災害が起きてしまうことから、コミプラに避難するということで、取り組んでいくことになっております。今後、階段の利用については慎重な審議をしながら進めていきたいと考えています。また、適切な指摘等、誠にありがとうございます。今後も住みよい村づくりのために、貴重なご意見をお寄せいただきたいと思っています。

それと、もう一つ門間さんに聞きたいと思っていますけれども、この大自然に恵まれた占冠村の中で、門間さんも中学までこの村で生活して、今後、高校とかその上の大学とかに進んで行くと思いますけれども、このふるさとに戻ってくるという思いはあるのかどうかを最後に伺いたいと思います。

○2番（門間風弥君） 自分は大学まで進学したいと思っているんですが、その後自分でどんな仕事をするかというのはまだ決まっていないうんですけれども、いつかはしっかり村に戻ってきて、何か自分の好きなことをした

いなと考えてはいます。

○村議会議員（五十嵐正雄君） たいへん嬉しく思います。どうもありがとうございます。

○2番（門間風弥君） こちらこそ、大変前向きな回答をありがとうございます。外国人観光客への案内が一日でも早く整うことを願っています。五十嵐議員、どうぞよろしく願いいたします。

○村議会議員（五十嵐正雄君） こちらこそ、よろしく願いいたします。

○2番（門間風弥君） これでこちらからの提案を終わります。ありがとうございます。

○CS議長（大谷元江君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。3番、山本悠幹君。小林潤君。

○3番（山本悠幹君） 現在、村では、村の良さを紹介することのできる多くのイベントや祭りが行われています。それらのイベントは多くの方々にとって、とても良いものになっていると私は感じています。しかし、そのイベントがある日に用事があって来られない方や、遠くに住んでいて来られない方なども多くいます。私もそのような経験が何度かありました。それが改善されたら、村の良さをより多くの人に伝えることができたり、もっと活気を良くすることができるはずですよ。

占冠村の良さを多くの人に伝えたいと私は思います。そして、若い世代にも村の良さを伝えていき、占冠の良さを引き継いでいってもらいたいと思います。また、占冠村を今よりもっと活気あふれる村にしていきたいと思っています。そのことで、多くの人に来て、経済的な効果も期待できると思います。

そこで、小林議員に質問です。現在ある多くのイベントに、もっとたくさんの人が来るようになるには、どのような工夫をしたら良

いと思いますか。議員の考えをお聞かせください。

○村議会議員（小林 潤君） 質問に回答する前に、私自身が皆さんと同じ年代の時に経験した議会に関わることをお話ししたいと思います。私は今63歳ですので、今から47～48年前、中学校1年生だったと思うんですけど、社会科の授業で議会制度の関係で、教室で勉強をしていて、担任の先生に引率されて、その時は幾寅に住んでおりました、南富良野町の役場に行って議会の傍聴した経験があります。ただ、私自身、47～48年が経って、議会の傍聴した記憶はあるんですけども、傍聴した内容は恥ずかしながら一切覚えていないんですよ。ですから、勉強していた割には議会の大切さ、重みを知らないで聞いていたのかなと思っております。そういう意味では、実際に議場で、生徒の皆さんは全員ではないですけども、代表して質問できるというのは、非常に羨ましく思っているところがございます。

それでは、回答に移りたいと思います。山本議員の質問を要約しますと、イベントやお祭りの中で良さを多くの人に伝えるために、もっとたくさんの方が来るようにするにはどのような工夫をしたら良いかということでございます。

村の大きなイベントとしてふるさと祭り、紅葉まつりに限定して考えてしまったんですけども、ふるさと祭りは、一昔前までは開催日時が決まっていなかったんですよ。ここ何年前から、富良野沿線でも同じようなお祭りがありますので、開催期日が重ならないようにということで、占冠村は8月の第1土曜日を前夜祭、第1日曜日を本祭と設定しております。そういう部分では、近隣の住民の皆様がうちのお祭り会場に来やすくなって

いるんじゃないかと考えています。

それから、占冠村の良さを多くの人にお伝えしたいということですけども、これもふるさと祭りの中で占冠神楽や、ここ1～2年していませんけれども占冠青巖太鼓も披露しております、占冠の文化芸能の披露もしておりますので、占冠の良さを伝えられているのかなという気持ちでおります。自然体感占冠のとおり、来てもらえれば緑豊かな自然を実感してもらえると感じております。

紅葉祭りについてもレクリエーションの森でなめこのホダ木を準備して、実際に天然で取れるようなこともやっていたんですけども、今はそれがなくなって、なめこ汁の販売だけになっているんですけども、これについても占冠ならではの特色ある催しになっているんじゃないかと考えております。以上です。

○3番（山本悠幹君） ありがとうございます。ここからが本題になるのですが、私が村長になったら、占冠村以外の地域から多くの方が来られるような工夫をしてきたいと思えます。

具体的には、イベントの期間を延ばすことや、有名な歌手を呼んだりしたいと思います。イベント期間の延長については、一日しかないイベントを二日間に延ばしたり、昼からのイベントを朝から行ったりなどして、より多くの方が来られるようにしたいと思います。また、有名な歌手を呼ぶことで多くのファンの方が来て下さり、村が活気づくと思います。

しかし、人が増えることで、トイレやゴミ処理、交通安全など、今以上に気を配るべきことも増えるはずですよ。そのため、看板やパンフレットで注意を呼び掛けたり、警察の方やボランティアの方による警備を強化する必要もあると思います。他にも、たくさんの席

を用意し、来場者の増加に備えたいと思います。また、多くの駐車場エリアをマップで紹介するとともに、駐車場が遠い時や、JRで駅から来る人のために巡回バスの運行を行いたいと思います。小林議員は、これらの提案についてどのように思われますか。

○村議会議員（小林 潤君） 山本議員が次期村長になったときに、村外から多くの方が来られる工夫について、イベント期間を延ばす、有名な歌手を呼ぶことが提案されていました。このことはイベントを開催する上で重要な要素だと思っています。

これからは現実的なお話になりますけれども、ふるさと祭りについて限定してお話させていただければ、もちろんお祭りですから入場料的なものを取っておりません。ご提案の中で有名な歌手を呼ぶというアイデアは素晴らしいと思いますけれども、仕事の関係でふるさと祭りに携わった経験からしても、有名な歌手を呼ぶことになれば経費的にも掛かるということが問題として生じてくるのではないかと考えております。ふるさと祭りは実行委員会で行うんですけれども、実行委員会の予算の規模に応じて実施することが村民の皆様への納得を得られるんじゃないかと考えています。

来場者が増えることでトイレやごみ処理、交通安全、警備の強化等は、主催者として多くのお客さんに来てもらうことになれば、こういう配慮が責任上考えていかなければならないことだと思っています。

提案をずっと聞いておまして、村を活気づけるためにという言葉が何回も出てきていましたが、CS議員の皆さん、山本議員が中心となって村を活気づけるということは、普段から村の様子を見ていなければ出てこない発想だと思いました。村を活気づけるために

馳せる気持ちが十分伝わってきました。私としては、毎日、勉強、部活動で忙しい中学生が村のことを考えてくれることは素晴らしいことだと感じております。以上でございます。

○3番（山本悠幹君） 丁寧な回答をありがとうございます。議員のおっしゃるとおり、村の規模に応じた予算で歌手などのアーティストを呼ぶことに私も賛成です。その際、ぜひ、村の中学生や高校生の意見を取り入れる機会を設けていただければ、村外からの若者の集客にもプラスになると思います。また、来場者が増えた際の交通安全、警備の強化、巡回バスの運行については、ぜひ実現させてほしいと思います。以上で、私からの提案を終わります。ありがとうございました。

○CS議長（大谷元江君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。4番、渡辺堅成君。藤岡幸次君。

○4番（渡辺堅成君） 近日、台風19号の被害により本州を中心に多くの方々が、避難所での生活を強いられています。今回、北海道はあまり台風の被害を受けませんでした。しかし、地震などの自然災害は、いつ占冠に起こってもおかしくありません。そんな状況になった場合、避難所に指定されている占冠中学校には、多くの人々が避難してくると思います。

今現在、占冠中学校の横には備蓄倉庫があり、土のう袋やスコップなど現場で活躍する資材や、食糧や飲料水、家電製品や寝具など、たくさんの物が用意されています。私は実際に中を見させていただきましたが、たくさんの物資を備蓄していただき、村民としてとても感謝しています。

しかし、日々占冠中学校で生活している私達からみて、この校舎は、十分快適に過ごせ

る避難場所になるとは言い切れない部分もあります。

そこで、藤岡議員に質問です。占冠の避難所としての占冠中学校をより充実させるためには、どのような改善が必要だと思われますか。議員の考えをお聞かせください。

○村議会議員（藤岡幸次君） 渡辺議員のご指摘のとおり、台風19号災害では多くの方が被災されました。本年に至っては19号のみならず、15号から始まり、爆弾的な低気圧等、幸い占冠村はそういったことに至っておりませんが、かなり大きな被害が全国的にもたらされた1年だったかなと。また、何年間かを振り返りますと、同様に大きな災害が毎年のように発生しているということからも、今、渡辺議員が言われたように、この村にもいつ、そういった大きな災害が起きるか分からないということは、私も同意見です。

今後においては、まず、避難所の取組みということですが、私自身もそんなに知恵があるほうではない。しかしながら、今、渡辺議員が言われたように、一緒に知恵を出し合って改善に向けて取り組むと。大きなテーマとしては、安心して安全な場所に避難できるということが一番核となる重要なことだと思いますので、一緒に考えていきたいと思えます。よろしくをお願いします。

○4番（渡辺堅成君） 本題に移っていくのですが、私が村長になったら、校舎内のトイレと暖房設備の改善を行いたいと思います。具体的には、校舎内のすべてのトイレを、車椅子の方でも利用しやすい広さにしたいと思います。それが難しいようであれば、多目的トイレの一つでも設置したいと思います。

暖房については、暖まるまでに大変時間のかかる体育館暖房と、集中式で効率の悪い一線校舎2階の暖房を入れ替えたいと思います。

一線校舎2階の暖房は、つけたらすぐに暑いほどの気温になる反面、消すとあつという間に寒くなってしまいます。また、集中暖房なので、使用している教室が1つでも、すべての教室に温風を送ることになり、災害時の燃料節約という視点からも大変効率が悪いです。

お年寄りから赤ちゃんまで、すべての被災者がストレスの少ない環境で避難生活を送れるよう、以上のことを提案します。藤岡議員は、これらの提案についてどのように思われますか。

○村議会議員（藤岡幸次君） 全く同感でありますとともに、渡辺議員が第一に言われたように、多目的トイレというのは、災害が起きたときの避難所で一番最初に困るところがトイレということで、先ほどからの議論でもいろいろと出てきています。そして、当然、そこには渡辺議員が言われるように、いろいろな方々が避難して来られるわけで、そういった観点から多目的トイレについては同意見であります。

村としても、我々議員からも提言、村との会話の中でもその取組みは決してされていないわけじゃないんだけど、まだまだ完全にはなっていないというのが現状であるかと思えます。しかしながら放置しておくわけにはいきませんので、トイレ問題は今使えないわけじゃないんだけど、必ず困るとき、災害が起きたときに困るので、改修するのか、臨時的なものを用意しておくのか。トイレは一つじゃ足りませんので、たくさん必要になってきますので、こういった視点は重要な視点かと思えます。

また、暖房については、冬の期間に入ってきましたけれども、厳冬期になりますと凍えて、体調を崩してインフルエンザ等に感染する。寒いところにいると体調が悪くなります。

心の問題もありまして、ストレスを抱えて、さらに寒いところとなりますと、ケアの点からも暖房問題は非常に重要な面もあるかと思えます。そういう意味では、今のものに加えて、渡辺議員が言われるように、普段から中学校を利用されていて寒さは実感されていると思いますので、我々もそういう点に重点を置いて、引き続き、執行側である役場に提言、相談をしていきたいと思っています。

また、併せて医薬品等の問題もあります。病院に通われている方等もおりますので、最初の話に戻りますけれども、安心してそこへ避難できるという場所づくりに向けて、皆さんの意見はまだあるかと思えます。以上で私の話を終わりますけれども、また、皆さんの意見を聞かせていただければと思います。一緒に考えてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○4番（渡辺堅成君） ありがとうございます。多目的トイレの設置や暖房設備の改善を含め、避難所として占冠中学校の機能向上が一日でも早く実現するように願っています。藤岡議員どうぞよろしくお願いいたします。

○村議会議員（藤岡幸次君） よろしく願いいたします。

○4番（渡辺堅成君） 以上で私からの提案を終わります。ありがとうございました。

○村議会議員（藤岡幸次君） ありがとうございます。

○CS議長（大谷元江君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。5番、グルングソニカ君。下川園子君。

○5番（グルングソニカ君） 自分が村長になったら占冠村と外国との絆プロジェクトを行いたいと思います。理由は3つあります。

まず、お互いの国や村のことを知ることが

できるからです。次に、占冠村はアスペン市との交流があるので、アスペンに関する物で学校にあるものを参考にすれば、私たちももっとアスペンのことについて知ることが出来るからです。最後に、外国は、日本ではどんなことを勉強しているかなど、日本について知らないことも多いと思うので、きっといい経験になると思います。

この占冠村と外国との絆プロジェクトの導入を検討していただけたらと思いますが、下川議員はどのようにお考えですか。

○村議会議員（下川園子君） ソニカ議員の質問にお答えいたします。ソニカ議員がおっしゃる絆プロジェクトにはとても興味があります。実際どんなことをするのかなあということが気になるんですけども、現在、占冠には多くの外国の方が生活していると思えます。

占冠を生活拠点にしている人ももちろんいますし、短期で働きに来る方、あとは観光で来られる方などたくさんいらっしゃるかと思います。たくさんいらっしゃるの、外国人の方と実際に交流しようと思ったとき、機会があれば、いつでも交流ができるのかなと感じる反面、そういった交流の場はないのが現状かと思えます。なので、そういった交流に関しては、設置できたらいいなと感じているところではあります。

アスペン市との交流については、実際に対象の学年、自分がアスペン市の方と交流する時にならないと、なかなか分かりづらい状況かなと感じています。なので、実際に交流した生徒さんの経験談や、勉強したことを学校の中に掲示してあったり、アスペンの生活風景などが、見やすい環境に掲示がしてあると、児童生徒の皆さんも分かりやすいのかなと感じます。地域の人に向けた報告会というのは、

紙ベースの報告書として上がってはいるかと思うんですけど、なかなか報告会というのがないので、報告会などを体験した皆さんからしていただけるとアスペンに関しては分かりやすくなるのかなと感じました。

以前、学校の中にもアスペンの情報が掲示してあったかと思うんですけども、今はなかなか見えにくい状況になってしまったんでしょうか。情報は見やすい場所で年々新しいものを更新してくほうが、より興味が持てると思うので、そういったものは実際経験したものをいっぱい報告していただけたらいいのかなと感じます。

実際、この外国の絆プロジェクトを行うと仮定したときに、ソニカ議員に三つ質問したいと思います。まず、一つ目が、お互いの国や村のことを知るために、どんな内容だったらそのプロジェクトに参加してみたいと思うか。または、どんな交流をしてみたいと思いますか。二つ目、ソニカ議員が初めて占冠、トマムに来た時に、生活を始めた時、何が一番大変でしたか。三つ目、今現在、毎日の生活の中で、ソニカ議員の家族、または、お友達が占冠の生活で困っていることはありますか。こちら3点を伺いたいと思います。

**○5番（グルングソニカ君）** 質問ありがとうございます。一つ目の質問に対する回答は、占冠村はアスペンと交流していますが、それは中2を中心に交流しています。小学校の人たちは何も知らないと思います。私もアスペンについて中2になって知ったので、小学校のうちに学ばば、もっとアスペンについて知ることができると思います。

二つ目の質問に対する回答は、私が占冠に来て思ったことは、お店がないことです。

最後の質問に対する答えは、家族や友達は、病院やお店がないことに困っていると言って

いました。病院は、月・水しか開かないので、何か病気にかかったら清水や帯広までいかないといけないのが大変と言っていました。以上です。

**○村議会議員（下川園子君）** ありがとうございます。この質問に対して、言葉の面での不自由というのは感じなかったんだなということにちょっとびっくりしました。本当はもっと思ったこともあったんだろうなと思うんですけども、たくさんの方の方が、トマム地区には特にいらっしゃるかと思うんですけども、そういった方たちとコミュニケーションをとるのはなかなか難しいなと感じることがあると思うので、今回、特に困ったことはお店だったり病院だったということなので、それを踏まえ、外国の方との交流というのは私自身考えていきたいなと思いました。

絆プロジェクトという響きもとても良かったし、外国人とのつながりというのは今後必要になっていくなと思うので、今回いただいたご意見を参考にして、どうやったらたくさんの方の外国人の人と交流が持てるのか。そういった場をどうやったら作っていけるのかということを考えていきたいと思います。

**○5番（グルングソニカ君）** ありがとうございます。これで私の提案を終わります。

**○CS議長（大谷元江君）** 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

これで一般質問を終わります。

---

### ◎講評

**○CS議長（大谷元江君）** これから、占冠村議会議長による講評を行います。前へお進みいただきまして、講評をお願いします。

占冠村議会議長、相川繁治君。

**○村議会議員（相川繁治君）** 占冠村議長講評ということで、講評をさせていただきたい

と存じます。

年号も平成から令和に変わり、第2回目のCS議会が趣向を変えた中で、中学生の皆さんは元より、田中村長、松永副村長、藤本教育長を迎えての開催となりました。こうした中で、関係の方々、そしてまた、大勢の傍聴の皆さんが見守っておられる中で開催されましたことに心から感謝を申し上げたいと思います。

中学生の皆さんからは、事前調査も行い、また、今日の質問の中で追跡質問もございました。こういった中で具体的で身近な問題、さらには多岐に渡った幅広い、高度な視点での質問もなされたのではないかと評価したいと思います。このような経験を生かし、身近なことから解決し、次の大きな課題へのステップとされることを、期待をいたすところでございます。中学生の皆さんは昨年にも出席された方々が大勢おります。自信をもって活発な発言をされたことは、これから社会へ巣立っていかれる皆さんを大変心強く感じたところであります。

一方、対する議員の側においては、今年4月の統一地方選挙で新しく当選された議員が答弁した5名中4名ということで、CS議会は初めての体験であって、中学生の皆さんより緊張されたのではないかなと考えているところでございます。

これからの時代は、どんどん速いテンポで進化してまいります。そのような時代の変化に対応していける今日の経験を生かして、将来、村に戻ってきたいとの考えの方もいらっしゃいました。また、皆さんは、本当に村のことを真剣に考えての提案や指摘も含め、活発な発言がなされたことに感銘をいたしました。なお、次年度におきましても、内容を十分に検討した中で、継続されますことを願い、

議長講評といたしたいと思います。今日はどうも皆さんありがとうございました。

**OC S議長（大谷元江君）** 相川議長、ありがとうございました。

---

### ◎散会宣言

**OC S議長（大谷元江君）** 以上をもって、本CS議会に付議された案件は、全て終了しました。CS議会はこれもちまして閉会したいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

**OC S議長（大谷元江君）** 異議なしと認めます。

したがって、本CS議会はただいまもちまして閉会することに決定いたしました。

これでCS議会を閉じます。令和元年第2回占冠村コミュニティ・スクール議会を閉会します。

散会 午後3時10分



地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和 元 年 1 2 月 2 4 日

占冠村コミュニティ・スクール議会議長 大 谷 元 江

(署 名 議 員)

占冠村コミュニティ・スクール議会議員 鈴 木 朱 那

占冠村コミュニティ・スクール議会議員 門 間 風 弥